

グッドデザイン賞 2013 年度の受賞結果を発表

グッドデザイン大賞候補 10 件および「グッドデザイン・ベスト 100」も決定



グッドデザイン賞を主催する公益財団法人日本デザイン振興会は、10月1日に2013年度グッドデザイン賞の受賞結果を発表しました。グッドデザイン賞は1957年の創設以来、日本を代表するデザインの評価・推奨の運動として広く知られる世界的なデザイン賞です。商品分野をはじめ建築・プロジェクトなど幅広い領域から応募されるデザインに対して、外見上の印象だけでなく、使い勝手や環境への配慮、社会への提案力など、今日求められるさまざまな観点から審査を行うことで、多くの“よいデザイン”を社会に送り出してきました。

2013年度は3,400件の審査対象の中から、のべ66名の審査委員による厳正な審査の結果、1,212件の受賞が決定しました。この中には今後決定予定である「グッドデザイン大賞」の候補10件と、「グッドデザイン金賞」をはじめとする特別賞の候補となる「グッドデザイン・ベスト100」が含まれています。なおこれら各特別賞は11月7日（木）に発表される予定です。

2013 年度グッドデザイン賞受賞結果

グッドデザイン賞受賞：1,212 件（審査対象数：3,400 件）
受賞企業数：794 社

グッドデザイン・ベスト100について

グッドデザイン・ベスト100は、2013年度グッドデザイン賞受賞対象の中で、審査委員会により特に高い評価を得た100件です。11月7日に発表予定の特別賞各賞の候補となります。

グッドデザイン大賞について

グッドデザイン大賞はすべての受賞対象を通じて、2013年度を象徴するデザインとして位置づけられる1件で、11月7日に発表されます。その決定には審査委員と今年度グッドデザイン賞受賞者のほか、10月30日から東京ミッドタウンで開催される「グッドデザインエキシビジョン2013」（G展）への来場者による投票結果も反映されます。

東北復興支援特別措置に基づく受賞

東日本大震災からの東北地域の復興を支援するため、応募費用の免除などの特別措置を2011年度から三カ年にわたり展開しています。その最終年度となる今回は、本特別措置枠の応募作91件がグッドデザイン賞を受賞しました。

国外デザイン賞との連携に基づく受賞

グッドデザイン賞が制度連携を結ぶタイ王国「デザインエクセレンス賞」受賞作から46件、インド「インディアデザインマーク」受賞作から1件がグッドデザイン賞を受賞したほか、2013年度に日本アセアンセンターとの共同事業として創設された「グッドデザイン・メコン・セレクション」の対象7件がグッドデザイン賞を受賞しました。

受賞対象情報のウェブ公開

グッドデザイン賞のウェブサイトで、全受賞対象のデザイナー名・概要・評価点などを一般公開※します。

<http://www.g-mark.org> ※2013年10月1日時点で発売前・発表前などの理由により公開されない対象が一部あります。

一般からのお問い合わせ先 公益財団法人 日本デザイン振興会 グッドデザイン賞事務局
電話：03-6743-3777 info@g-mark.org

報道関係のお問い合わせ先 グッドデザイン賞PR事務局（共同PR株式会社内） 担当：渡辺、宇津木、横山
電話：03-3571-5238 FAX：03-3571-5380

深澤直人 審査委員長メッセージ

私たちが美しいものごとに気持ちを惹かれるのは、それらが単独で美しいからでなく、そのものごとからさらにそれを取り巻く周囲を想像して、全体の釣り合いの美と、そうした全体状況を生み出した妙技に心を打たれているのだと言えます。

デザインは人ともとの環境の関係の美しさのことであると考えます。グッドデザイン賞の審査では、すべてのものごとが関連して全体で美しさを醸し出しているのを見出すことが問われます。たとえ単独で強い美しさを発しているものや、人の目に留まる気配を発しているものであっても、それらが使われる環境や状況との関係において美しいかどうか、存在自体がその場に相応しいかを慎重に見極めなければなりません。

今回のグッドデザイン賞の審査会場を見渡したとき、けばけばしい、いわゆる悪い意味でのデザインは少なく、むしろ静かな感じを受けました。技術の進化は機能の発達とともにものの姿を小さくさせるか、あるいは空間や建築物に取り込んでいくという必然的な過程を辿ります。姿は消えても機能は残るので、その機能の使い方を考えること・人と機能の関係を考えるのがデザインである、というデザインの存在意義の変化もまた必然であると言えます。姿を消しつつあるものの機能や使い勝手を審査するのに、一瞬の見た目では判断が難しくなっています。使い勝手のよさをもたらしている要素を深く探っていくことや、使い方の心地よさ、それらを成す仕組みにまで目を向ける必要がありました。

デザインとは具象化されたものです。その具象化されたもののよさを感じとる感覚はすべての人に備った生態的な機能であって、多くの人がかどこかで暗黙のうちにそのよさを共有しているように考えられます。そしていまでは、複雑化する社会、めまぐるしく変化する産業や経済の構造、著しい技術の進化のなかにあって、なお全体の調和を導くことこそがよいデザインとして受け止められるのではないのでしょうか。

グッドデザイン賞はその暗黙の共有をあらためて皆で自覚し合う場です。そこでよいという感じを受けるものごとは、その周りとの関係がうまく釣り合っているからであり、ものごととして存在する意義自体に納得ができています。

2013年度グッドデザイン賞審査委員長

深澤 直人

2013年度グッドデザイン賞 今後のスケジュール

10月30日(水)～11月4日(月/振替休日) グッドデザインエキシビション2013(G展)

11月1日(金)～11月4日(月/振替休日) グッドデザイン・ベスト100デザイナーズプレゼンテーション

10月30日(水) グッドデザイン・ロングライフデザイン賞発表、グッドデザイン賞祝賀会

11月7日(木) 特別賞発表

グッドデザイン大賞

グッドデザイン金賞／グッドデザイン・ものづくりデザイン賞／グッドデザイン・未来づくりデザイン賞／グッドデザイン・地域づくりデザイン賞

12月6日(金) グッドデザイン特別賞表彰式

2014年3月 受賞年鑑『GOOD DESIGN AWARD 2013』発刊

受賞対象の一覧およびビジュアルデータご提供について

本日発表された2013年度グッドデザイン賞全受賞対象のリスト、およびグッドデザイン・ベスト100対象のリストとビジュアルデータは、下記の日本デザイン振興会ウェブサイトのメディア専用ページからダウンロードができます。

<http://www.jidp.or.jp/media/>

また、各受賞対象に関する審査委員会の評価点は下記のグッドデザイン賞ウェブサイトでご覧になれます。

<http://www.g-mark.org>

2013年度グッドデザイン賞 都道府県別・国別受賞数

都道府県別受賞数 内訳

北海道	5	京都府	19
青森県	11	大阪府	139
岩手県	9	兵庫県	23
宮城県	28	奈良県	8
秋田県	14	和歌山県	4
山形県	7	島根県	8
福島県	10	鳥取県	1
茨城県	21	岡山県	8
栃木県	6	広島県	11
群馬県	5	山口県	0
埼玉県	23	徳島県	2
千葉県	7	香川県	6
東京都	560	愛媛県	8
神奈川県	40	高知県	1
新潟県	22	福岡県	12
富山県	3	佐賀県	6
石川県	11	長崎県	3
福井県	8	熊本県	8
山梨県	1	大分県	2
長野県	6	宮崎県	0
岐阜県	16	鹿児島県	5
静岡県	26	沖縄県	6
愛知県	56	海外	212
三重県	2		
滋賀県	2		

海外地域別受賞数 内訳

Australia	1
Cambodia	2
China	11
Denmark	2
Germany	6
Hong Kong	5
India	2
Korea	66
Laos	3
Myanmar	1
Singapore	1
Slovenia	1
Spain	1
Switzerland	1
Taiwan	42
Thailand	47
U.K.	3
U.S.A.	16
Vietnam	1

<備考>

上記は、2013年度のグッドデザイン賞受賞対象ごとの「受賞者」を基準に、それぞれの受賞者を都道府県・国別で合算した数値です。

受賞対象の都道府県・国別の件数ではありません。

海外の受賞数は、海外に本拠点がある応募者からの応募数を基準に算出しています。日本支社などが受賞者になる場合は日本国内での受賞として合算しています。